

ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp 12号

2009.3.10 (12)
東京公害患者と家族の会
 文京区小石川5-33-7マツモトビル2F
 TEL03-5802-2366 FAX03-5802-2377
ぜん息110番
 03-5840-8446

もうすぐ総会です！ 出欠のお返事はお急ぎください

2009年度・合同定期総会

日時 3月22日 14:00～
 場所 コア・いけぶくろ4階（豊島区民センター）

総会后・懇親会（お弁当付き、参加できない方はお弁当を持ち帰っていただきます）

患者会の活動を各支部や全体から報告して、この一年間の成果の確認や反省をします。これからの活動のしかたを、みなさんに確認していただきます。弁護団・医師の先生による学習会を予定しています。支部から推薦された方を幹事さんとして承認していただきます。会員の増加・医療費助成制度開始に伴う、患者会会則の変更をお願いします。

参加できない方は委任状を返送してください・過半数に達しないと総会が成立しません。

一年の活動を決める大事な総会です

ゆっくりゆったり 《 健康回復のために 》

患者会の旅行会で温泉と新緑を楽しみま

日時 5月24日（日）～25日（月）

参加費 20.000円 本人負担 10.000円
 患者会助成 10.000円

宿泊先 会津・芦ノ牧温泉
丸峰観光ホテル

出発時間・日程については、みなさまからのご意見がありました。少しでも多くの方が快適な旅行を楽しめるように日程を改善したいと思います。



湯立坂だより 其の十 『駕籠町(かごまち)の由来』

2月22日合同幹事会の折、早い時刻に千石駅に到着。駅を出ると広い白山通り、向い側の住所は何処だろうと「ふと」思い渡りました。

住所は[本駒込2丁目]となっていました。ゆっくりと歩を進めると、時代めいた『駕籠町(かごまち)公園』の名称に強く引きつけられ、踏み込んでみるとモクセイ科で常緑低木の柊(ヒイラギ)が、公園を囲む様に植えられていました。

元禄10年(1697年)江戸幕府は「御駕籠(おかご)の者」51人に、この地を与え居住させた。(現在の本駒込2丁目・6丁目の一部)「御駕籠の者」とは將軍専用の駕籠をかつぐ人で、長身の者が選ばれた。(將軍ご用達のときは小刀の着帯は許された。)

昔、この辺りは巢鴨村に属していたので、町の名を御駕籠と合わせて「巢鴨御駕籠町」とした。

明治2年(1869年)「御」の字が削除されて「小石川駕籠町」となった。さらに昭和39年(1964年)町名が整理統合されて駕籠町の名は消え、今では駕籠町小学校・駕籠町公園など懐かしいその名が残っている。

思わぬ社会科の勉強でした。

大田支部 和田 栄子

品川「八潮班」(支部は準備中です)

2月5日(土)第2回八潮班会を開きました。会員のみなさん・支援のみなさん・西村弁護士・お手伝いのSさんにも参加していただき、PM2.5について詳しい説明をききました。日本の大気の状態は、欧米の環境基準の1.5～2倍になっているようですが、八潮団地は四方を産業道路がとりまき、決して水と緑の・・・という売り込み文句の状態でないことも明らかです。PM2.5の怖さと私たちの活動の意味が深く理解できた班会でした。また幹事の岩崎さんから杏仁豆腐の差し入れがあり、すてきなおやつをいただき、美味しいものにも出会える会だねとの歓声が聞かれました。 報告 松岡 玲子

だれでも参加歓迎
 問い合わせは患者会でもOK

みんなで歌おう **あおぞら** (第4回)

仲間で一緒に・楽しく《リハビリにもなるよ》
 日時 4月18日 14:00～16:00
 場所 豊島区目白3-13-11 コトキビル6F (3953-0361)

足立区交渉
 足立支部では二月二十七日に足立区の衛生部との懇談を行いました。この懇談は、昨年からの国や都との道路連絡会で議論されてきた足立区内の道路問題を懇談するために開かれたものでした。衛生部とはぜん息医療費制度の宣伝など広報や周知徹底のための対策などについて懇談しました。

お薬・症状・QaA

現在使用しているお薬のこと・こんな症状で悩んでいるなど、様々な悩みや不安を解消するコーナーです。

Q 今月はぜん息患者に多く見られる疾病「**続発症**」と呼ばれている病気・症状についてふれます。(経口(飲む)ステロイド等を使用している患者に特に多い疾病です。)

A 「**続発症**」とは一つの病気を患っていて更に別の病気が起こり、その発病に因果関係があるとみとめられた場合、後から起こった病気を**続発症**といいます。

患者会員に多く見られる・症状

1. 骨粗鬆症
 2. 糖尿病
 3. 難聴
 4. 肺炎
 5. 緑内障
 6. 眼圧亢進
 7. 免疫力低下
 8. 顔面膨満
 9. 手足のふるえ
 10. 皮膚が弱くなる
- その他 多汗・多毛・鼻炎・うつ病等以上のような様々な症状が見られます。
- 都条例の認定患者には極めて限定的な制限があり、薬による**続発症**は認められていません。(吸入ステロイドを使用している場合の副作用は、少ないと言われています。)

神代植物公園 ゆっくりウォーク

実施日 4月19日(日) 集合 11:00
 場所 調布駅北口 弁当持参
 費用 入園料は患者会負担とします
 交通費(自己負担)

ご家族みなさんで参加してください。春を楽しみましょう。

先月号の植物園名に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。花盛りです!

公害対策・まちづくり

『千葉のつどい』に東京患者会から多数参加

『東京と千葉、大気に区切りはありません！きれいな空気と健康をとり戻す千葉のつどい』（千葉あ おぞら連絡会・準備会主催）が2月21日（土）に千葉市中央区旭町の千葉土建本部会議室で開催され、東京・埼玉・川崎からの参加も含め約70名が出席して大成功を収めました。東京あおぞら連絡会および東京公害患者と家族の会からも清水鳩子さん、小林重信さんをはじめ、繁野義雄さん、福島寿登さん、富永忠光さん、小林忠男さん、鈴木十紀子さん、深澤幸子さんら多数が参加しました。

東京経済大学の尾崎寛直准教授、千葉川鉄公害訴訟団の鈴木守弁護士、千葉土建の丸山拓さんによる講演・特別報告に引き続き、東京からは原希世巳弁護士と清水鳩子さんが連帯の挨拶をしました。その後、東京公害患者と家族の会の会員で現在千葉県在住の河村聖樹さんがぜん息患者としての訴えをおこなう中で、堂本千葉県知事にあてた手紙の内容についても紹介がされました。また、足立ピースフラワー合唱団の皆さんの協力も得て、「小さな願い合唱団」が『小さな願い』（福島寿登氏作詞）をはじめ素敵な歌声を披露してくれました。



PM2.5の環境基準設定を求める団体署名ご協力お願いします

大気汚染改善に実効あるPM2.5の環境基準設定を求める団体署名を環境省へ提出するために集めています。

新規会員のみなさんは団体署名をご存じない方もおられるかもしれません。団体署名は大きな団体はもちろんのこと、小さな商店でも、自営業の方・サークル・同好会・など三人以上集まれば団体とみなされますので、お一人1団体でも集めていただけましたら、環境省への要求につながります。同封の封筒に入れて返送をお願いします。（切手はご寄附いただけると助かります。）

悪霊の正体みたり・・・

今から10年ほど前のこと、私の母は突然の呼吸困難を起し、人口呼吸器の挿管をされました。その数年前に父が亡くなりましたが、めっきり体力の衰えを心配して同居していた妹が、家の中で一番日当たりの良い部屋を母の居室にして一年ほど経ったころでした。

その部屋は、結婚前に私が使用していた部屋でした。南側に大きな駐車場、西側が道路に面していて、隣接する建物がないので一日中日が差して、暖かな西南の角部屋でした。ところが部屋を移って間もない頃から母が息苦しさを訴えるようになったのです。そして何が起っているのかわからないうちに、人口呼吸器の挿管にまで至ったのです。そんなある日のこと、母を見舞った私に妹が言うのです。「お姉ちゃんが使っていたあの部屋って、何か憑いてるんじゃないの？」「私「何かかって、何？」と聞くと、母が長期入院をするというので、姪と甥が母の部屋で遊んだり、寝たりするようになったのだそうですが、甥が小児ぜん息を発症したと言っています。「お姉ちゃんとお母さん、それに息子までぜん息になったのは、あの部屋のせいじゃないかと思うんだけど」と妹は、お払いでもして貰おうかとまで言い出すのです。元々妹は不思議好きで1999年まで、「ノストラダムスの大予言」を信じていたくらいです。でも私も説明はつかないけれど、何か母や甥の発病と自分の病気が関連しているような気がしてなりません。今なら大気汚染が原因と解りますが、目に見えない物が原因だとしたら、それは恐ろしい何かに見えるものではないでしょうか。

悪霊の正体みたり・・・PM2.5・・・ナンチャッテ!!!

支部活動予定・支部活動報告

【世田谷支部の取り組み】

世田谷・幹事 武井 綾子

（武井さんの患者会との関わりをお伺いします。）
武井さんは24年前にぜん息を発症しました。世田谷は「公害健康被害補償法」の指定地域外だったので、認定は受けていません。この度の都条例で認定されました。それまで医療費は三割負担で、月8千円かかっていました。病状が酷い時は点滴をする一回3千円かかります。それが月に2回3回と重なる負担額も大きかったので、助かっています。8年前、裁判の第三次原告になり、患者会にも入会しました。

（世田谷支部の会員数・会員拡大はどうですか）
都条例実施前は10名でしたが制度が始まり22名になりました。入会された方は、患者会のぜん息110番に相談された方・医師に勧められた・世田谷区報を見て申請された方です。世田谷区は広いので、会員拡大には困難を感じていますが支部会員の植松さんと地域のあおぞら連絡会の亀岡さんには協力していただいで、感謝しています。

（お住まいの付近の大気環境はどうですか）
世田谷区は一般に住宅地として環境が良いと認識されていますが、とんでもないことです。「高速三号渋谷線」は「東名高速」に連結しており、「国道二四六号」があり、トラックの交通量が多いので悪臭高い「環状7号線・八号線」も区内に通っています。環境は悪化しているのが現状です。

（なにか健康法をやられていますか）
ウォーキングを実施しています。河が埋め立てられて遊歩道になっている烏山緑道や、松陰神社への家からの往復。40分から1時間くらいウォーキングしています。健康のためには、適度の運動が必要だと思います。

三多摩支部新春交流会

2月17日三多摩支部の新春交流会が行われました。途中、友の会のみなさんの参加もありましたので団体署名のお願いをしたり、楽しく交流をしました。



- 3月の活動予定
- 7（土）三役会議10:00～
世田谷・葛飾歓迎会13:00～
 - 8（日）合同幹事会 千石アカデミー13:30～
 - 15（日）道路連絡会・足立現地調査13:00～17:30
 - 17（火）総行動オルグ
 - 18（水）総行動オルグ
 - 21（土）あおぞら連絡会・PM2.5学習会15:00～
 - 22（日）2009年度・合同総会14:00～
 - 24（火）まちづくり委員会14:00～
 - 29（日）公害弁連・大気連シンポジウム13:00～
 - 30（月）あおぞら連絡会・理事会18:30～

足立支部の取り組み

健康班会
患者会の足立支部は二月に一度、公害病の予防と健康維持のため「健康班会」を開いています。
今回は二月二十六日に「ぜん息の治療薬」と題しみなみ薬局長の後藤礼子さんが講師になり「ぜん息薬品の種類と働き」を説明しました。
この班会には十三人が参加し、数多いぜん息治療薬について、「咳止めが出たが公害以外と言われた」「カルシウム剤の効能は」など具体的な質問に後藤さんは薬品の効能や吸入薬の説明、薬の管理など詳しい丁寧な説明に参加者は十分納得していました。
四月には、「薬の副作用」の班会を予定しています。

